



## 第7回ふくしま学(楽)会

# ふくしまから伝えたいこと、 知らなければいけないこと。

2011年の東日本大震災・福島原発事故から10年が経過します。1F（福島第一原子力発電所）廃炉作業も本格化し、福島復興も新たなステージへ移行しつつあります。

2017年5月に開所した早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンターは、長期的・広域的な視点から原子力災害からの地域社会再生について調査研究してきました。

こうした調査研究と並行し、世代を超えて、地域を超えて、分野を超えて福島復興について共に考え、議論する場としての「ふくしま学(楽)会」をこれまで6回開催し、ふたば未来学園の高校生や地域社会、NPO、国や地方の行政、大学などの多様な人々の議論を展開してきました。

特に、第3回ふくしま学(楽)会では、2050年の持続可能な福島県浜通り地域社会の構築に向けた「ふくしま浜通り社会イノベーション・イニシアティブ(SI)構想」を提案しました。SI構想は(1)1F廃炉プロセスの地域資源化(1Fヘリテージ構想)、(2)地域アートなどの展開による新たな地域の魅力や価値の創造、(3)福島の教訓を未来世代へ発展的に継承するための国際芸術・学術(Arts & Sciences)拠点の形成です。

今回の第7回ふくしま学(楽)会では、これまでの3つのSI構想の議論に加え、「『3.11』から10年とこれからの福島復興を考える」として、10年の節目の意味を議論したいと考えています。「福島の再生なくして日本の再生なし」という福島復興の原点を再確認し、世代を超えて、地域を超えて、分野を超えて、多くの皆さんの参加を呼びかけます。

日時: 2021年1月24日(日) 10:00-17:40 (9:30プレセッション, 18:00夜の部)

会場: Zoomミーティング、福島県広野町・現地会場「ぷらっとあつと」

参加登録: 参加申込みは以下のWebサイトから行ってください(QRコードでもアクセスできます)。

<https://forms.gle/TEjLXx4o3yG8DcGy5>

主催: 早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター・早稲田大学レジリエンス研究所(WRRI)

共催: 福島県広野町

後援: 福島イノベーション・コースト構想推進機構、双葉地方町村会、  
早稲田大学アジア太平洋研究センター(WIAPS)、  
早稲田大学環境総合研究センター(WERI)

問合せ先: 電話 0240-27-1251 福島県広野町復興企画課 担当: 大和田  
03-5292-3526 早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター事務局  
e-mail jyuten-fukkou@list.waseda.jp 早稲田大学レジリエンス研究所(WRRI)



参加登録アドレス

本事業は、2020年度 大学等の復興知を活用した福島イノベーション・コースト構想促進事業の支援により実施しています。  
(プログラムの詳細は裏面にあります)





プログラム 総合司会：阿部加奈子（福島県広野町役場）

開会挨拶：10:00-10:15

遠藤 智：福島県広野町長

松島武司：福島イノベーション・コースト構想推進機構

小野田弘士：早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター副センター長

友成真一：早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科長

1F 廃炉の先と地域社会：「復興と廃炉の両立」を考える：10:15-11:00

ふたば未来学園高校・未来創造探究ゼミ

1F 廃炉の先研究会

崎田裕子（NPO 法人持続可能な社会をつくる元気ネット・前理事長）

吉田恵美子（NPO 法人ザ・ピープル理事長、いわきおてんと SUN 企業組合代表理事）

「1F 廃炉の先研究会と地域社会との対話について」

地域社会

吉田 学（HAMADOORI 13、株式会社タイズスタイル・代表取締役）・梨本 智（HAMADOORI 13、都重機土木有  
限会社・常務取締役）「地域の産業界から」

鈴木知洋（ふたば未来学園高校教員）「地域の教育界から」

笠井智貴（磐城高校2年生）「地域の未来世代から」

パネルディスカッション：1F 廃炉の先と地域社会：「復興と廃炉の両立」を考える：11:00-12:00

司会： 松岡俊二（早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター長）

パネリスト： 宮野 廣（日本原子力学会・福島第一原子力発電所廃炉検討委員会・委員長）、

奥田修司（経産省資源エネルギー庁・原子力発電所事故収束対応室・室長）、

崎田裕子、吉田恵美子、吉田 学、梨本 智、鈴木知洋、笠井智貴、ふたば未来学園高校生

お昼休み：12:00-13:00

災害の記録と記憶の継承とエコミュージアムを考える：13:00-14:00

ふたば未来学園高校・未来創造探究ゼミ

高原耕平（人と防災未来センター主任研究員）「〈語りたい〉と〈語れない〉のあいだで：神戸の経験から」

小林 孝（東日本大震災・原子力災害 伝承館・副館長）「伝承館が語り伝えたいこと」

南郷市兵（ふたば未来学園中高校・副校長）「問われる境界知作業者の役割」

パネルディスカッション：災害の記録と記憶の継承とエコミュージアムを考える：14:00-15:00

司会： 洪 恒夫（東京大学博物館特任教授）

パネリスト： 高原耕平、小林 孝、南郷市兵、山本麻紀子（京都市立芸術大学非常勤講師）、

青木淑子（富岡町 3.11 を語る会代表、3.11 メモリアルネットワーク理事）、ふたば未来学園高校生

休憩：15:00-15:20

グループ討論および全体会：15:20-16:30

「あれから10年、今何をすべきか」セッションに分かれて対話の6グループ：15:20-16:10

全体会：6グループからの報告：16:10-16:30

パネルディスカッション：「3.11」から10年とこれからの福島復興を考える：16:30-17:30

司会： 森口祐一（東京大学大学院工学系研究科教授、国立環境研究所理事）

パネリスト： 秋光信佳（東京大学アイソトープ総合センター教授）、江口哲郎（復興庁参事官）、

橘 清司（福島県企画調整部・部長）、菅波香織（未来会議事務局長）、

遠藤秀文（株）ふたば社長）、芥川一則（福島高等専門学校教授）、ふたば未来学園高校生

開会挨拶：17:30-17:40

松岡俊二：大震災・原発事故から10年とふくしま浜通りSI構想

プレセッション：9:30-10:00

磯辺吉彦：福島県広野町の「ぶらっとあっと」拠点から

現地中継、安部 良：「伝統・魅力プロジェクト報告」

夜の部：18:00-20:00

未来学園卒業生の近況報告、ゲスト放談：ヴィヴィアン

佐藤+奥田修司：1F ツアー顛末記、島村守彦：活動報告など

